平成23年度　施策達成度評価シート（平成22年度実績評価）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
5	活力ある産業の振興	52	まちに活力を与える工業の振興

施策主管部	商工観光部	評価者（施策統括マネージャー）名	武石　幸久

1　施策の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
製造業者	製品出荷額等が増加する。

2　達成度

（1）成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画（年度目標値）	H22実績値	H23計画（年度目標値）	H26計画（最終目標値）
製造品出荷額等	千万円	↗	21,815	12,000	20,910	19,750	19,750

（2）近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
製造品出荷額等	東北各県の県庁所在都市の20年度製造品出荷額（単位：千万円／括弧数値はH19度分） 本市　21,815（24,580） 青森市　10,759（9,250） 秋田市　32,701（34,884） 仙台市　57,454（55,326） 山形市　24,011（24,705） 福島市　79,447（79,748）

3　達成度評価結果

取組内容と成果，成果を得られた要因	市の工業振興を図るための4基本事業のうち、①「産学官連携の強化」については、岩手大学構内にH19年8月に開設した市産学官連携研究センター（通称コラボMIU）をその拠点として、連携研究センター入居企業の研究開発支援や、大学・公設試験研究機関との共同研究を行う企業への助成のほか、盛岡市・岩手大学連携推進協議会（H18年11月に組織した連携推進会議をH20年7月改組）を開催するなどし、産学官連携の強化を図った。 　また、②基本事業「工場集団化の推進」については、盛岡テクノパークへの入居企業開拓のため、市内金融機関へ情報を提供するとともに製造業を主に訪問し宣伝・紹介を行ったが、経済環境の悪化を主因として入居には至らなかった。また、玉山区への工業団地建設のため開発協議に必要な基礎資料の作成を行った。 　③基本事業「起業家の支援」については、H14年11月に開設した市産業支援センターを拠点として、同センター入居者への起業支援のほか、起業家塾の開催や地域の起業家発掘・育成（盛岡市、矢巾町・滝沢村共同事業）のための事業を行った。同センターに配置のIMの指導等により、入居者は起業へのステップを着実に踏んでいる。また、産学官連携研究センター及び新事業創出支援センターにおいても、指定管理者と連携し入居者の支援にあたった。 　④基本事業「中小企業の経営力の強化」については、世界同時不況に呼応した20年10月来の国内金融収縮に対処するため、国のセーフネット保証に対応して、県信用保証協会保証付の市融資制度利用者に対して信用保証料の全額を引き続き市で負担した。地方経済が好転しないことなどからセーフネット保証対象業種が1,118業種に拡大されたことにより、セーフティネット保証認定件数が21年度1,064件（H19：60件，H20：928件）となり，市が行う保証料負担及び関連事務も急速に増加したが、この措置により雇用及び産業牽引の一担い手である中小企業の体力持続の支援に寄与したものと考えている。
翌年度以降の課題，その要因	経済環境の悪化による中小企業支援として、当面は雇用及び産業牽引の一担い手である中小企業の体力持続を図るため、「県保証協会保証付の市融資制度利用者に対して信用保証料の全額を市で負担する」支援を継続することが必要である。また、この経済環境の下では大きな投資は抑制されると考えられるため、盛岡テクノパークや産業等用地への新たな企業入居は直ちに成果を見ることは難しいものと考えられるが、PRを積極的に行い立地企業の掘り起こしに取組むとともに、「市産業支援センター、市産学官連携研究センター、市新事業創出支援センター」での一連の起業化支援、新技術・開発支援及び製品試作支援など、各ステージでの支援を継続的に行いながら、岩手大学を主とする大学等との産学官連携を一層強化することにより、他都市との差別化を一層図ることが必要と考えられる。　また、玉山区への企業誘致に向けた新たな工業団地の整備については、可能な限り早期の整備を図るとともに、ハード面の整備検討と並行して首都圏等の企業に対する積極的な売り込み（誘致活動）を行う必要がある。

平成23年度　施策達成度評価シート（平成22度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
5	活力ある産業の振興	52	まちに活力を与える工業の振興

基本事業	
コード	名称
521	産学官連携の強化

施策主管部	商工観光部	評価者（施策統括マネージャー）名	武石　幸久

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
高等教育機関，研究機関，産業従事者，行政	研究機関の知恵がまちづくりに活かされ，新しい技術，商品，事業が創出される。

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 （年度目標値）	H22実績値	H23計画 （年度目標値）	H26計画 （最終目標値）
共同研究により製品化された新技術等累計件数	件	↗	31	32	31	33	36

平成23年度　施策達成度評価シート（平成22度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
5	活力ある産業の振興	52	まちに活力を与える工業の振興

基本事業	
コード	名称
522	工場集団化の推進

施策主管部	商工観光部	評価者（施策統括マネージャー）名	武石　幸久

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
製造業	住工混在を解消し，工場の規模が適正化される。

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 （年度目標値）	H22実績値	H23計画 （年度目標値）	H26計画 （最終目標値）
市内での企業団地移転社数	社	↗	0	3	0	1	1

平成23年度　施策達成度評価シート（平成22度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
5	活力ある産業の振興	52	まちに活力を与える工業の振興

基本事業	
コード	名称
523	起業家の支援

施策主管部	商工観光部	評価者（施策統括マネージャー）名	武石　幸久

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
起業を希望する者	多く起業されている。

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 （年度目標値）	H22実績値	H23計画 （年度目標値）	H26計画 （最終目標値）
創業者数（累計：市産業支援センター，県産業振興センター，岩手大学など）	人（社）	↗	57	60	58	61	70

平成23年度　施策達成度評価シート（平成22度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
5	活力ある産業の振興	52	まちに活力を与える工業の振興

基本事業	
コード	名称
524	中小企業の経営力の強化

施策主管部	商工観光部	評価者（施策統括マネージャー）名	武石　幸久

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
市内の中小企業	魅力ある商品やサービスを提供できる。

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画（年度目標値）	H22実績値	H23計画（年度目標値）	H26計画（最終目標値）
経営改善等研修会の参加者数（商工会議所，商工会など）	人	↗	1,329	1,354	1,342	1,367	1,460